

## 極域・寒冷域研究連絡会のご案内

極域・寒冷域研究連絡会より、2004年秋季大会（福岡）での開催内容のご案内をいたします。

**日時：**2004年10月8日（金）17:15～2時間程度

**場所：**大会C会場（アクロス福岡1F円形ホール）

**話題：**

1. 寒冷域の大気循環

「2002年南半球大規模突然昇温について」

廣岡俊彦（九大理）

2. 両半球の海水域変動とモデリング

「北半球海水域変動と大気循環場の関連についての最近の知見」

本田明治（地球環境フロンティア研究センター）

「南極海水域の変動について衛星リモートセンシングデータから分かること」

木村詞明（北大低温研）

「南極海水分布に海氷力学過程が及ぼす影響について」

小倉知夫（環境研）

今回の極域・寒冷域研究連絡会は、「寒冷域の大気循環」及び「両半球の海水域変動とモデリング」と題しての講演特集です。最近、客観解析データや衛星データの充実に加え、海氷モデルの開発などで、極域研究の方向も非常に多岐にわたるようになってきました。極域研究の発展には、現地での直接的観測が非常に重要であるの言うまでもないことですが、データ解析

やモデル研究などの間接的手法による研究も重要な貢献をしています。

そこで、今回は、数値モデルやデータ解析等による「デスクワーク」を中心に研究を進められている4名の方々に講演をお願いしました。前半では、最近話題になった、2002年に南半球で見られた大規模突然昇温に関する研究を紹介して頂きます。後半では、観測データ及び再解析データを用いた両極の海水変動に関する研究、及び海氷モデルを用いた研究についての話題を提供して頂きます。

**代表：**山崎孝治（北海道大学地球環境科学研究科）

**世話人：**平沢尚彦（国立極地研究所）

中村 尚（東京大学理学部）

浮田甚郎（コロンビア大学）

高田久美子（地球環境フロンティア研究センター）

阿部彩子（東京大学気候システム研究センター）

佐藤 薫（国立極地研究所）

本田明治（地球環境フロンティア研究センター）

齋藤冬樹（東京大学気候システム研究センター）

高谷康太郎（地球環境フロンティア研究センター）

**問い合わせ先：**

地球環境フロンティア研究センター 高谷康太郎

Tel：045-778-5526, Fax：045-778-5707

E-mail：takaya@jamstec.go.jp

## 秋季大会会場の電話番号の訂正

8月号および予稿集に掲載された秋季大会当日の連絡先電話番号が誤っていました。下記の通り訂正します。

誤：092-737-1085

正：092-737-1075